

# 第2期大田原市健幸ポイントプロジェクト 平成30年度の成果について

---



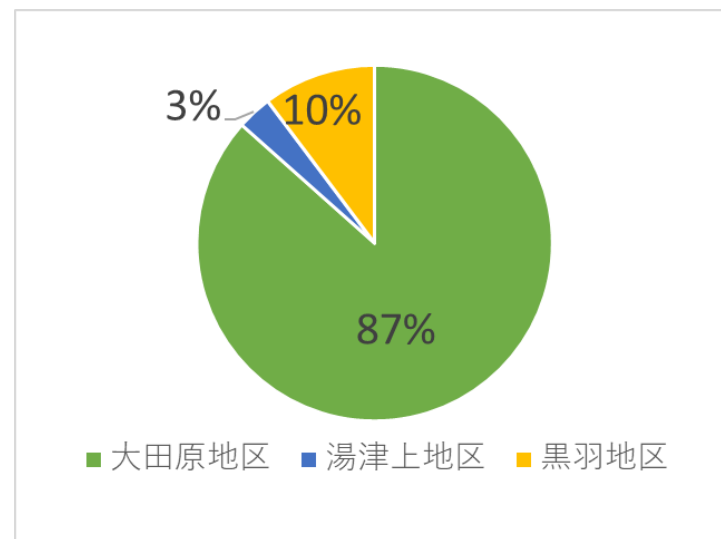
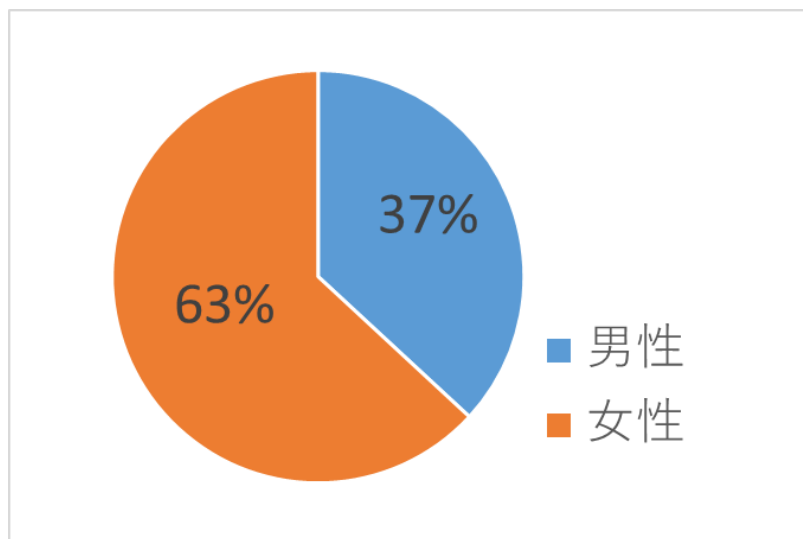
令和元(2019)年5月  
大田原市保健福祉部健康政策課

# 1-(1) 平成30年度参加者の状況

## ○大田原市健幸ポイントプロジェクト

参加者数 2,077人(平成31年3月26日現在)

	合計	大田原地区	湯津上地区	黒羽地区	市外居住
男性	766人	656人	20人	74人	16人
女性	1,311人	1,097人	44人	134人	36人
総合計	2,077人	1,753人	64人	208人	52人



## 1-(2) 平成30年度参加者の状況

### ○参加者平均年齢

	平均年齢	最高齢	最年少
男性	64.44歳	93歳	21歳
女性	61.66歳	87歳	21歳

### ○累積歩数の記録

最高記録                    18,010,694歩（1日平均28,588歩）

（32歳、女性、2018/6/24参加）

平均歩数                    7,425歩（平成31年2月）

○「よいちメール」登録者数    782名（37.6%）

## 1-(3) 参加者の活動実績

### ○健幸ステーション参加率

平成30年度平均 77.52%

・・・おおむね75%程度の参加継続率を維持。

### ○インセンティブ付与事業の開催

20事業 合計 8,510ポイント（人）の実績

### ○運動量（歩数）の増加

参加登録月の平均歩数 6,404歩/日（参考）

⇒ 平均7,425歩/日へ（平成30年度平均）

※累積歩数による試算

## 1-(4) インセンティブ付与の実績

### ○ポイント交換実績（平成30年度実績）

①6か月景品 2,530人

②10P景品 1,755人

③20P景品

【延べ交換数】 1,522件

【申請者数】 1,201人（57.8%）

【申請回数】 3回：23人（1.1%）

2回：275人（13.2%）

1回：903人（43.4%）

【交換先】 商品券:1,504人 寄付:18人

※（）内は参加人数比

## 1-(5) 参加者アンケート調査結果

健幸ポイント参加者アンケート

平成31年2月～3月に実施(回収数1,479件)

○「健幸ポイントに参加して良かった」

・・・92.6%

○「歩くことなどのスポーツの習慣が身についた」

・・・63.2%

○「これからも健幸ポイント事業で運動やスポーツを続けたいと思いますか？」

【続けていけると思う】・・・60.2%

## 2-(1) 平成30年度事業の総括及び課題①

### テーマ1 健幸ステーションにおけるコンシェルジュ事業

「見える化」したデータの活用方法や目標設定などの個別相談・指導を行うとともに、地域内のスポーツ関係の情報と連結したコンシェルジュ機能を健幸ステーションにおいて実現する。これにより、簡素化した個人サポートの充実に取り組む。

- 健幸ポイントサポーターを**健幸コンシェルジュ**として育成し、“健幸ステーション”に配置することで、運動習慣に対する個人サポート機能の充実に図った。
- これにより相談や雑談等の定期的なコミュニケーションの場を設け、スポーツイベント等の案内を行う機能を導入することで、スポーツに対する継続意欲の向上と個人ごとの課題解決や満足度向上効果を検証した。
- 健幸ステーションにおいて、個別相談やイベント等の案内活動を行い、平成30年度末までに**840件の相談実績**（雑談等を含む）を上げた。

## 2-(2) 健幸コンシェルジュが受けた相談の内容

### ○健幸コンシェルジュが受けた相談の内容

	項目①	項目②	項目③	項目④	項目⑤	項目⑥	項目⑦	項目⑧	項目⑨	総計
8月	11	5	10	4		6		1	22	59
9月	89	16	42	13	4	37	7	1	74	283
10月	184	2	8	4		5			19	222
11月	22	29	18	7	1	69		1	21	168
12月	5	1	1			1		36	9	53
1月	4							1	14	19
									8	8
	6	1	6				2		13	28
総計	321	54	85	28	5	118	9	40	180	840

項目	
①	運動歩数
②	体重
③	筋肉
④	体脂肪
⑤	基礎代謝
⑥	体組成
⑦	トレーニング
⑧	スポーツ
⑨	その他

会話テーマ	
8月	
9月	
10月	目標歩数(8,000歩)について
11月	体組成の測定結果について
12月	スポーツ施設利用ポイントについて
1月	有料プログラムについて
2月	有料プログラムについて
3月	

※会話のきっかけとするため、10月から毎月のテーマ（話題）を設定し、声掛けを行った。





株式会社カワチ薬品大田原西店  
内での健幸ステーション開催

健幸コンシェルジュ(健幸ポイント  
サポーター)による相談風景



## 2-(3) 健幸コンシェルジュに関する考察

- 相談内容のうち、おおよそ6割を占めているのは、“**自分の数値（体組成や歩数）が普通かどうか**”の確認であった。
- 自身の運動能力や“健康度”を向上させたいというよりは、**不安の払しょく、または安心感を得たい**という要望が根強い。
- 運動・スポーツに関する情報等に対しては興味関心が薄かった。  
☞ ポイントが付くことしかやらないという固定化の恐れがある。
- 保健師による相談内容の確認を行ったところ、疾病や怪我に関する深刻な内容の相談はなかった。（健康度はそもそも高い?）

### 【考察】

**おおむね健康な人々が、自分の健康を確認し、自信をもって維持するための事業となっている。運動・スポーツをもっとやろう、という気持ちの向上にまでは至っていないため、波及効果を得るためには、さらに工夫した取組が必要である。**

## 2-(4) 平成30年度事業の総括及び課題②

### テーマ2 インセンティブによる運動・スポーツ習慣の形成事業

2,000人規模のインセンティブ付与事業において、「運動・スポーツに関するイベントをいかに効率的かつ低コストで提供するか」という課題を検証し、地域内に定着するようモデル化を図る。

次の2つの戦略を念頭に、月1回程度のポイント付与イベントを実施した。

- 庁内各課、民間事業者等の関係事業者のリソースを積極活用。さらに他の団体主催のイベントに対しても、インセンティブポイントを付与する。

#### (インセンティブイベントの外製化)

- 有料スポーツ施設利用に対するインセンティブポイントの設定。また、個人を対象とする一部講座等において自己負担徴収の開始。

#### (インセンティブイベントの有料化)

## 2-(5)ポイント付与事業の実績

インセンティブ付与事業開催数	20事業(うち外部開催11事業、有料化3事業)
連携事業者数(企業、個人を含む)	20組織
提携した有料スポーツ施設	合計4施設(ボウリング場、温水プール、スポーツジム、ロコモ予防トレーニング)

### ○平成30年度事業のトピック

- 市内スポーツ施設の継続利用に対するポイント付与制度の開始(合計4施設)
- 有料化事業の導入
- 運動・スポーツに関すること以外の分野との連携拡大



グラウンドゴルフ体験  
協力事業者: 大田原市グラウンドゴルフ  
協会大田原支部、(株)奈良スポーツ

有料ロコモチェックイベント  
協力事業者: 早稲田イーライフ大田原、  
アルケア株式会社



## 2-(6)ポイント付与事業に関する考察

- ▶ 参加者が2,000人を超え、会場等の物理的制約や運営のマンパワー、費用等の要請はさらに悪化した。外製化・有料化によるポイント付与事業の設定が進んだことで、事業回数を増やすことができた。
- ▶ 本事業は、当初より地域経済の活性化や市内の様々な関係者との体制構築を指向しており、**大集団となったことで関係事業者にとっても、波及効果や相乗効果が増している**のではないかと見られる。
- ▶ 一方でそれぞれの関係事業者とは、**市との1対1で相対する線しかない**。さらなる活性化のためには、協力事業者間の連携や集積について検討の余地がある。

### 【考察】

**健幸ポイント事業があることで、運動・スポーツに関する協同の場（体制）がトコトコ大田原を中心に定着しつつある。これをいかに活用するのか、これからも維持できるのかが課題。**

**第2期事業の終了を見据えて、残り時間を有効に活用することが必要。**

## 3-(1) 次年度以降に向けて

### ◎今後の展開

- ✓ 第2期健幸ポイントプロジェクトは、**2020年3月31日をもって終了**。利用できるのは残り1年間。
- ✓ 新規参加者募集も平成31(2019)年2月をもって終了。現在の参加人数で確定し、これからは“いかに事業から離さない”かが課題となる。
- ✓ 後継事業（第3期）については未定。
- ✓ 4月以降、引き続き**市主催のイベント開催方式から、他者主催のイベントに対するポイント付与制度への移行をさらに進めていく。（自立と定着）**
- ✓ 有料化した事業について、料金設定やポイント付与基準を試行錯誤中。最適化条件の発見とモデル化へ。

## 3-(2) その他

(1) 今後の予定について

### ○第2期健幸ポイントプロジェクト

事業期間：平成29年度から平成31年度まで

☞2020年3月31日(月)の健幸ステーション  
臨時開催をもって事業終了。

### ○成果（医療費等）の分析

2019年～2020年にかけて、医療費、介護給付費等の分析を行う予定。そのほか、歩数や行動変容に関する調査も検討中。